

学会員の皆様

「今、求められるピア・サポート活動の展開に関する調査」のお願い

日本ピア・サポート学会 研究調査委員会

新型コロナウイルスの世界的な流行からはや3年経ちましたが、依然として終息の見通しが立たない状況が続いています。学校では、感染予防の取り組みの強化により、学校行事が中止または大幅に縮小され、仲間とともに触れ合ったり、様々な難題を乗り越えたりする経験を十分に積み重ねることができないまま、進級している子どもたちも多いのではないのでしょうか。また、大学では、オンラインによる授業が続き、友だちと直接会って話したことがないという状況も見られます。さらに、家庭の状況が厳しくなり、望むような進路選択（進学、就職）ができない子どもたちもいるなど、子ども・青年、保護者にとっても、これまでにない負荷がかかる状況が続いています。

本学会では、コロナ禍の流行から1年が経過した2021年1月に「緊急調査」を行いました。その結果見えてきたことは、多くの子ども・青年たちは健気に頑張っているということです。その一方で、様々な形でSOSを発信している子ども・青年たちもみられます。だからこそ、学校教育に関わる私たちには、子ども・青年たちの、学校・家庭などでの様子を丁寧に把握していくこと、そして、今だからこそ求められているピア・サポート活動を工夫し展開していくことが求められているのではないのでしょうか。重ねて、前回の調査で、教職員への影響も浮き彫りとなったことから、教職員同士が支えあうことも大切になっているのだと思います。

そこで、令和2年1月の緊急調査から2年を経て、子どもたち、そして今回は教職員・同僚にも目を向け、現状や見えてくる課題、取り組んでいる個別支援、そして学級・学級での楽しい行事や活動、ピア・サポート活動として工夫して取り組まれたことなどについて、全国の会員の皆さんに再調査を行います。調査結果は学会誌に掲載し、会員の皆さん方の今後の実践に活かしていただければと考えています。ご協力をお願いいたします。

調査機関：2023年1月10日（火）～1月31日（火）

調査対象：全学会員

調査方法：アドレスを登録している会員にはメールにて依頼し回答を求める。

HPにも掲載し依頼する。

回答方法：・Google Forms への回答：<https://forms.gle/DgGGD3dJv5tkpxCA9>

・ピア・サポート活動の取組内容を回答する際、文章量が多くなる場合は、別添「事例記入用紙」に記入の上、研究調査委員会 三枝までメールで送付してください。（送付先：kenkyu.chosa2020@gmail.com）

【アンケート内容】

・所属（校種など） ・都道府県名 ・氏名 ・メールアドレス

※ 事後に、個別に問い合わせをさせていただく場合がありますので、メールアドレスの記入にご協力をお願いします。なお、困難な方は無記入でも差し支えありません。

1. コロナ感染拡大のもとで、子ども・青年・教職員・同僚の生活、様子について気になることを記入してください。
2. 学校、学級などで、具体的に起きている課題、問題などについて記入してください。
3. 1、2を踏まえて、取り組まれた個別支援について、内容を記入してください。
4. その取組の成果や課題などについて記入してください。
5. 1、2を踏まえて、学校、学級などで取り組まれたピア・サポート活動や工夫した取り組みについて内容を記入してください。
6. その取組の成果、課題などについて記入してください。
7. 現在の子ども・青年の状況を踏まえて、今後の取組課題、大切にしたいことなどについて記入してください。

以上、よろしくお願いいたします。